

お寺で話そう。

自分をマジョリティとっていない人集まれ!!

「いざというときに、 お寺で話そう。」

～日常・
生活・
支援・
つながり～



被災時に様々な制約がある人たちが
いろいろな場面で苦しい体験をされました。

目に見えてわかりやすい制約もあれば、周囲にわかってもらえない制約も
伝えない制約もあります。

これは被災時だけではありません。

日常、いろんなひとりとりがいるような制約を抱えて生活しています。

「みんなお互い違うんだと気づく」と意識してみませんか？



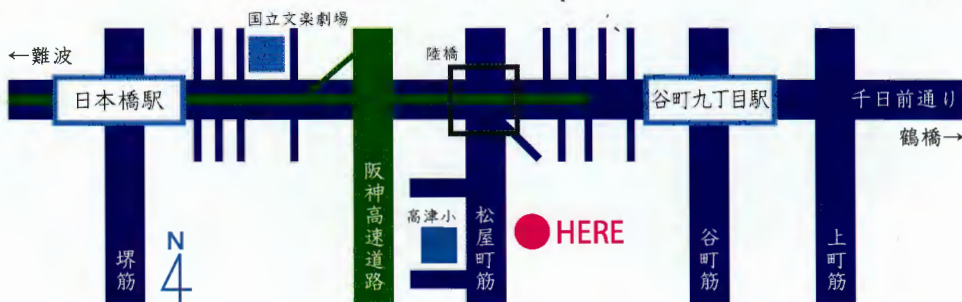
じょうどじゅうおきてんいん
**浄土宗應典院
本堂ホール**

2012年2月24日 金曜日
18:30～21:00
定員 35名
参加費 500円
館内EVあります

事務局

日寄生活支援ネットワーク
☎ 06-4396-9189

✉ po-net@e-sora.net



＜助成＞独立行政法人福祉医療機構「社会福祉振興助成事業」＜主催＞日常生活支援ネットワーク＜協力＞東北・関西 被災障害者支援ゆめ風基金実行委員会、大阪ボランティア協会、大阪市社会福祉協議会、ボランティア情報センター、應典院寺町倶楽部

FAX送信表

お申し込みはこの面をFAXしてください。

氏名

所属

連絡先

TEL・FAX・メール

送信先：日常生活支援ネットワーク ≫ **06-4396-9189**

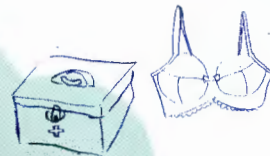
Boyakitter

あなたにとっての「わかってもらいにくいこと」はありますか？

記入していただいた内容を当日のシンポジウムで紹介してもよろしいですか？

はい・いいえ

普段からの生活のなかで、



誰しもが人にはわかりづらい制約や事情というものを持っています。
マイノリティという言葉はある特定の人を指すのではなく、その局面局面では私たちは少数派で
もあり、不都合な立場にも為りえます。
これらのことが特に災害等の非常時にはより顕著に現れます。
人は誰しもというところから、みなさんが日頃感じておられる「いざというときにわかってもらい
にくいこと」をお互いに聞いたり、話すこと。
ここから感じられることを大切にしていきたいです…。
みなさんのご来場をお待ちしております。

